

保護者アンケート質問事項	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
ごどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3	0	0		
職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	1	3		
生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	2		
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、ごども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	1		
ごどものことを十分に理解し、ごどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2	1	1	新しいことに挑戦することとは別に、発達の凸凹があることには、得意なことを伸ばしていただくように、進めてもらいたい。子どもの個性に合わせて、個別に対応してほしい。	得意なことを伸ばす支援についてのご意見、ありがとうございます。個別支援に活かしてまいります。
事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	2	0	2		
ごどものことを十分理解し、ごどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からごどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	2		
放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2	1	0	イベントや活動の案内がされない。	イベント等のご案内不足、申し訳ございません。今後の情報提供方法を改善いたします。
事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	5	1	1		
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のごどもと活動する機会がありますか。	7	4	1	6		
事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	0	1		
日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2	0	0		
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	2		
事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	3	0	1		
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2	0	4		
ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	1	0		
ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2	0	0		
定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	1		
個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	0		
事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3	0	2		
事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3	0	6		
事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	5		
事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	3	0	5		
ごどもは安心感をもって通所していますか。	10	6	1	1	スタッフさんと話しにくい。	スタッフとの話しにくさについて、ご意見ありがとうございます。より話しやすい雰囲気づくりに努めます。
ごどもは通所を楽しみにしていますか。	9	7	2	0	体育館で軽い運動の日は、とても楽しかったようです。運動の日を増やして頂けたら嬉しいです。以前は楽しみにしていたが、新しい目標や他にやりたい事ができてからだんだんそうではなくなってきた。本人が成長した証拠だと考えています。細かいルールが多くて気を遣う。	運動プログラムへのご要望、ありがとうございます。今後の活動に取り入れられるか検討します。 活動への意欲の変化、成長の証と捉えていただきありがとうございます。 ルールについてのご意見、ありがとうございます。配慮が必要な点について検討いたします。
事業所の支援に満足していますか。	15	2	1	0	利用者もっとコミュニケーションをとってほしい。	ご意見ありがとうございます。利用者の方一人ひとりと、より積極的にコミュニケーションを図ってまいります。

従業員アンケート設問	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善が必要な点
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	予定決めの時に自分がいる予定の部屋に名前磁石を張り、混雑しないようにしている 長期休みの時は中学生、高校生と分けている。 学年によって部屋を分けて、それぞれにあった環境作りをしている。	中学生の学習時間が被ってしまうと席が足りなくなりそう。 利用者の特性を考慮すると、人数が多く刺激になりやすい時がある。
利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	事前に配置予定をしている。	トラブルが起きたときに見れない部屋が発生する。
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	部屋に応じて用途がわかりやすいように視覚的に提示している。フラットな床の設計、及び蛍光灯等で事故予防をしている。 キッチン以外はフラットになっている。	
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	精神的な状況に応じて面談する場所やクールダウンするソファ等を設けている。	必ずしも環境が変わらないときがある
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	日々の情報共有の中で行っている。	話し合いの時間をさらに増やしていく。
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	積極的なOFF-JTを確保。 利用者様の日々の目標も一緒に提示し、職員が見える場所に掲示している。 ホームページで公開している。	公表のタイミングをより早くする。
適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	ケース会等を行い共通理解をしている。	
放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	ミーティングで話し合っている。	
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	年間のスケジュールや経過記録を使い、固定化しないようにしている。 ミーティングで話し合っている。	
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日朝礼時に確認している。	打ち合わせの時間は増やす余地がある。 打ち合わせはしているが、十分な時間はとれていない。隙間の時間で、可能な範囲で行っている。
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		打ち合わせの時間は増やす余地がある。
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	面談をしている。	
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		総合的な支援を意識しながら、更に明確な活動区分けが必要。
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	支援方針の中で自己決定を重きにおき基本的に主体的な行動を促している。 日替りのメニューを提案している。	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		教育、医療も含め更なる連絡共有の機会は増やす必要がある。
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0		基本的には親御さんとの連絡調整、及び親御さんを介しての調整が多いため、より一層の学校との情報共有の時間を増やしたい。
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	進路が決まった子には、卒業までにある程度の情報を提供している。	進学となるとできていない。進学先の学校との情報共有も必要。
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	コンサルテーション等を導入して、事例検討は行っている。	
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	子ども食堂等での地域の交流を図っている。	施設のイベントを通じて増やしていきたいと良い。 積極的には参加できてない。 取り組みの改善にあげていきたい。
(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の連絡から記録の提供を通じて細やかな情報共有を行っている。	
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	毎月交流会の場を設けている。	
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	イベントや交流会を通じて行っている。	年間を通して回数を増やしても良い。
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		管理者を中心に更なる迅速な対応を目指していく。
定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Instagramやチラシの配布を通じて行っている	
個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報は事務所から出さないようにしている。	事務所の中でも留意が必要
障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		事業所ごとに積極的に過ごしていきたい
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		安全管理に必要な研修や訓練は増やしていく必要がある
こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		家族等への周知は定期的に行なっていく必要がある
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Growupアカデミー
○保護者評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○保護者評価有効回答数	18
○従業者評価実施期間	2025/3/24-2025/3/27
○従業者評価有効回答数	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/30

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	計画作成プロセスと保護者説明	アセスメントに基づき、ケース会議等で共通理解を図りながら個別支援計画を作成し、保護者へ丁寧に説明しています。	今後も計画作成における丁寧なプロセスを維持し、保護者の意向をより反映できるよう努めます。計画内容の質の向上を目指していきます。
2	家族との連携・情報共有	日々の連絡や面談、家族交流会、情報発信（HP・SNS等）を通じて、保護者との情報共有や連携を図っています。	保護者との日々のコミュニケーションを大切にし、信頼関係を維持・発展させていきます。家族交流会等の内容や頻度についても、ニーズを踏まえ検討していきます。
3	内部連携と改善への取り組み	支援前後の打合せや日々の情報共有を通じてチームで連携し、業務改善（PDCA）やプログラムの工夫にも取り組んでいます。	打合せ時間の確保に努め、より効果的な情報共有と振り返りができるよう改善していきます。職員一人ひとりの意見を活かし、継続的な支援の質の向上に繋がっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置の適正化と業務遂行	人員不足を感じる事が多く、安全面や業務遂行に課題があると認識しています。	職員間の連携強化や業務の優先順位付けにより、安全確保と業務の質の維持に努めます。
2	関係機関との連携と地域交流	就学前施設や地域の関係機関との連携、地域住民との交流が十分ではないと認識しています。自立支援協議会への参加も課題。	学校や地域の関係機関との情報共有や連携の機会を積極的に設けるよう努めます。地域イベントへの参加や企画を通じて、地域との繋がりを深めていくことを目指します。
3	安全管理の周知と子どもの安心感	安全マニュアルや訓練、安全計画に関する保護者への周知が不十分であり、事故発生時の連絡体制にも不安の声があることを認識しています。子どもが安心して過ごせる環境か、見直す必要性を感じています。	安全に関する情報を保護者へ定期的かつ分かりやすく周知する方法を検討し、実施します。事故発生時の連絡体制を再確認・徹底します。子どもたちが安心して過ごせるよう、職員との関わり方や環境を見直し、改善に努めます。